



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル
 〔会長〕竹尾 白 〔幹事〕橋口 徹 〔会報委員長〕松尾 博之
 〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2014-2015年度

第2460回



平成26年8月1日(金) 点鐘12:30 <晴れ>

- ◆◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆◆お客様紹介

<千葉西ロータリークラブ>
内貴 洲平様

◆◆会長挨拶及び報告 竹尾 白会長

理事・役員会報告

1. 新会員委員会所属について 太田雅美会員は会計
2. 7/25懇親夜例会会計報告 承認
3. 日帰り親睦旅行について
日程⇒10/31 行き先⇒伊豆大島 に決定

2016-2017年度ガバナー・ノミニーの候補者推薦の件

宇佐見ガバナーより、下記の通り、文章が届いております。

国際ロータリー細則第13.020.4項により、2016-2017年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニー候補者の推薦を希望するロータリー・クラブは、2014年9月16日までに地区ガバナー指名委員会委員長宛(第2790地区ガバナー事務所気付)に文書を以てご推薦くださいますようお願いいたします。

◆◆委員会報告

親睦活動委員会より (五十嵐博章委員長)

会長報告にありましたように10月31日(金)の日帰り親睦旅行は、伊豆大島に決定しました。

行程⇒ 蘇我駅東口6時45分発
千葉駅NTT前7時00分発⇒ 竹芝栈橋へ
竹芝栈橋08時30分発(高速ジェット船に乗船)

2時間弱で大島へ到着予定
大島で昼食、三原山等の観光
大島16時35分に出発し、18時前には千葉へ到着皆様、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

◆◆幹事報告 橋口 徹幹事

来週8月8日は、クラブフォーラムです。この日はガバナー補佐公式訪問ですので、各委員長さんはよろしくお願ひします。

◆◆8月度 会員誕生日祝・結婚記念日祝

【誕生日祝い】

江沢 一男会員、岡田勝利会員、小林 透会員

【結婚記念日祝い】

酒井 秀大会員、寺澤 一良会員

◆◆ニコニコボックス報告

<竹尾 白会長・橋口 徹幹事>

先週の納涼懇親夜例会の流しそうめん、美味しく戴きました。金親さん、江沢さん、伊藤さん、水野さん本当に有難うございました。そしてご苦労様でした。

<向後 保雄会員>

来る、10月5日(日)に世界遺産登録(6月21日)された「富岡製糸場」の見学日帰り旅行を私の後援会主催で実施致します。後援会に関係ある無しに関わりなくロータリーの皆様のご参加を宜しくお願ひ致します。(申し込みは、廻りさんまでお願ひします)

本日のニコニコボックス	3,000 円	累計	263,000 円
金の箱	840 円	累計	2,568 円



←伊豆大島



↑三原山

◆◆ 出席報告 (会員数50名)

出席者数34	欠席者数16	ビジター 1	修正出席率 65.31%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	8/11・8/25	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	8/12	センシテイター「東天紅」
千葉幕張RC	火	8/12	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	8/13	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	8/13	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	8/14	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	8/14・8/28	京成ホテルミラマレ



会員ミニ卓話

〈石井 慎一会員〉

職業である弁護士としての専門分野の変遷、学生時代の野球を通しての貴重な経験、特に大学時代の将来プロ野球に進んだ選手との対戦、現在の趣味であるゴルフ、マラソンの話等を聞かせていただきました。

特にマラソンは、抽選倍率の高い人気のマラソン大会の抽選に連続して当たる強運を聞かされ、やっぱり特別な何かを持っているなど感じさせられるとともに、自分のペースで走れるマラソンで18kgのダイエットができたというくだりにはみんな食いつきました。

〈向後 保雄会員〉

昼は議会の仕事、夜は税理士としての仕事をまじめに勤められている努力家の一面を改めて聞かせていただきました。テニスやゴルフを趣味としていたものの、最近では多忙で趣味として楽しむまでに至らず、最近ではソーシャルダンスを楽しんでいるそうです。超多忙の中、家族旅行は欠かさない、家族を大切にされる姿勢に皆さん感心されていました。9月の富岡製糸場観光、平成27年暮れに完成予定の千葉港観光棧橋も楽しみにしています。

◆◆◆ 日帰り親睦旅行:伊豆大島ミニ知識 ◆◆◆

伊豆大島(いずおおしま)は、伊豆諸島北部に位置する伊豆諸島最大の島。本州で最も近い伊豆半島からは南東方約25kmに位置する。大島と名のつく島は日本各地にあるが、国土地理院では伊豆大島と表記する。面積は91.06km²。行政区域は、東京都大島町である。大島は伊豆大島火山と呼ばれる水深300~400mほどの海底からそびえる活火山の陸上部分であって、山頂火口のある

三原山はカルデラ内に出来た中央火口丘である。数多くの噴火の記録が残っているが、最近では1912年~1914年、1950年~1951年、1986年に中規模以上の噴火があり、特に1986年の噴火では全島民が避難した。また、この期間中にはしばしば小規模な噴火を起こしており、1957年の噴火では死者が1名出ている。三原山の最高峰は三原新山と呼ばれ、標高は764m。5月から8月にかけて南南西風が卓越風であり、それ以外は北東風が卓越風である。2007年、日本の地質百選に選定された。2010年には日本ジオパークに認定された。

三原山(みはらやま)は、東京都大島町の伊豆大島にある中央火口丘。伊豆大島の最高峰で標高は758m。現在は観光の対象とされており、火口を周遊する遊歩道なども整備されている。

伊豆大島では約2万年前から現在まで、100年ないし200年毎に合計100回前後の大噴火が起きたと考えられている。古くから島民は噴火を御神火、火山を御神火様と呼び敬ってきた。古代の火山活動については六国史などに記述があるが、伊豆諸島の中で伊豆大島三原山の噴火と断定できるものはない。伊豆大島の名が噴火記録に出てくるのは、竺仙録に「海中有一座山、名曰大島、毎年三百六十日、日日火出自燃」とあるのが最初で、1338年ごろの様子を記述したと考えられている。島内の元町地区にある薬師堂の祈祷札には、天文21年9月19日(1552年10月17日)に「御原ヨリ神火出テ同廿七日ノ夜半、江津ニ嶋ヲ焼出」という記録がある。これが噴火場所として「みはら」という名が出てくる最初の記録である。近世の大噴火としては、天和4年(1684年)から元禄3年(1690年)にかけての噴火と安永6年(1777年)の噴火が挙げられ、どちらも溶岩がカルデラ壁を越えて流出するほどで、御救米が下されたという。多くの記録は「大島焼」や「大嶋焼出」と記述されているが、安永以降の記録には伊豆大島内の噴火場所として「三原山御洞」との記述が増える。

(写真と文はウィキペディアより)



第2461回例会

〈ガバナー補佐訪問〉

日時⇒ 平成26年8月8日(金) 点鐘12:30

第2462回例会

〈ガバナー公式訪問〉

日時⇒ 平成26年8月22日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『ガバナーご挨拶』

卓話者⇒ 国際ロータリー第2790地区

ガバナー 宇佐見 透様



(会報当番: 永安 重治会員)